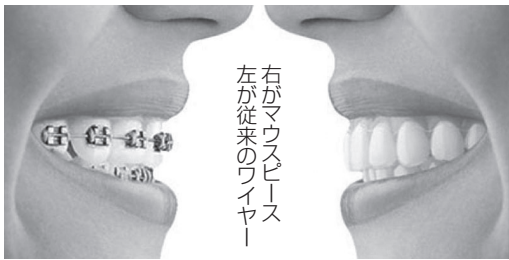


患者が自分で取り外し

多くの人がワイヤーを使った矯正治療を受けて、きれいな口元を手に入れたが、患者にとり矯正が辛い経験であることもまた事実。笑ったとき、話したときに見えるワイヤーは、限られた期間とはいえ新たなコンプレックスの種にもなる。歯に長期



右がマウスピース
左が従来のワイヤー

間、力を加えるため違和感が消えない。ワイヤーと歯の間に食べ物のカスが溜まりやすい。それが虫歯や歯周病の原因になる。歯科医療全体が新技術の活用で進歩したように、矯正治療もまた急速に進歩している。いまみや歯科で本格的な治療が行われているのがインビザラインのマウスピースを活用した矯正治

従来、歯並びの矯正に使われてきた金属製ワイヤーには、美観への影響や口の中の違和感などの問題があった。「インビザライン」は樹脂製のマウスピースを活用する新しい矯正システム。従来の手法にはないさまざまな利点を備えている。医療法人 Inamiya Medical Alliance (IMA、今宮克明理事長)、いまみや歯科医院では、プラチナ認定されたマウスピース専門の矯正医である瀬川憂樹歯科医師が矯正治療を行っている。

療だ（インビザラインとはインビザブル〈見えない〉+アライン〈整列〉）に由来する名称）。透明な樹脂製で、歯の外側を薄くコーティングするような形状。装着時の違和感がワイヤーよりも大幅に軽



透明で目立たないマウスピース

米国の主流に

インビザラインは米国アラインテクノロジー社が開発し、米国内では矯正の認定医・専門医の約80%がこの手法を使用するなど、すでに主流となっている。これまで米国発の手法

くなり、笑っても目立たない。外観以上に大きな特徴は、固定されているワイヤーと異なり、マウスピースは患者が自分で装着したり、取り外したりできるということ。このため食事や歯磨きの前には取り外し、終わったら装着できる。口腔内に固い金属を入れないので装着中のスポーツが可能。若い患者からは「矯正期間中も口元を気にせず写真に入れたのがうれしい」といった声も寄せられている。

がほぼ10年遅れで導入されてきた日本でも、今後インビザラインが主流になる可能性が大きい。患者にとっては利点が多いこの手法だが、歯科医師なら誰もが使えるわけではなく、ア社の認定する資格を取得する必要がある。この資格にはさまざまな段階があり、最も基本的なレベルが「ブロンズ」。経験を重ね、技術を高めるごとに「シルバー」「ゴールド」「プラチナ」と上がっていく。瀬川氏（北海道大学

道内唯一の「プラチナ」矯正医
マウスピースで常識覆す矯正

歯学部卒）は道内唯一の「プラチナ」資格保持者であり、ブロンズ取得から2年目のプラチナ取得は過去最速だ。瀬川氏は現在、旭川ではいまみや



今宮克明 理事長



瀬川憂樹 歯科医師

5年間の結果保証

歯科医院でのみ、インビザラインによる矯正治療を行っている。

インビザラインによる矯正治療は、以下の手順で行われる。

①無料相談 歯科医師が矯正の手順を説明するとともに、患者の疑問に答え、どんな歯並びを希望しているのか尋ねる。

②矯正診断 矯正治療のベースとなるデータを、口腔内の型とり、レントゲン、口腔内写真、顔貌写真の撮影などで取得する。

③クリンチエック 解析したデータをもとに矯正のシミュレーションを行う。患者は3D画像を見ながら、期待される矯正結果を確認でき、歯科医師とのイメージのズレを最小限に抑えることができる。抜歯の有無を含め、どのような矯正治療を行うのか、この段階で計画を決定す

る(クリンチエックは無料)。

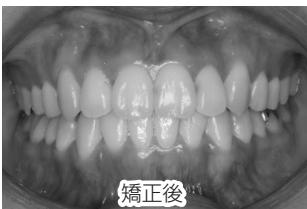
④マウスピースの製造 治療計画に合わせて、工場の3Dプリンタでマウスピースを複数個製造する(約3週間が必要)。

⑤矯正の開始 初回にマウスピースの装着方法や注意点などについて説明がある。その後、1カ月に一度通院して診断を受け、その度にマウスピース2個が渡される。1個あたりの歯の「移動距離」は0.25mm。マウスピースを交換するたびに、理想の歯並びに近づく。

⑥矯正の完成 1カ月に2個のペースでマウスピースを交換し、1~1年半で矯正が完成する。

⑦結果の保証 どの矯正方法を選ぶかにかかわらず、治療完了後、歯が元の位置に戻ろうとするところがある。そのような場合には再度製造するマウスピースで理想の歯並びを維持する。このマウス

インビザラインによる矯正の実例



大人にも適した方法

他の方法と同様、インビザラインによる矯正も健康保険の適用外。状況により変動するが、IMAでの標準的なケースの費用は70万~80万円。大都市圏では100万円以上の場合もあるが、地域経済の状況に配慮してリーズナブルに設定されている。瀬川氏は矯正全般について、大きな2つの誤解があると指摘する。「まず子供だけが対象だ

と思われがちですが、下は永久歯に生え変わるころから、上は天然歯があれば何歳でも矯正できます。第2に、矯正は美観のためだけではありません。個人差はありますが、かみ合わせが良くなれば、体の左右のバランスがよくなり、全身の健康状態が改善する可能性もあります」。

また、転勤や進学などで移転する人は、IMAに所属するパドマデンタルクリニック(江別市)、久里浜デンタルクリニック(横須賀市)でも瀬川氏による継続的な矯正治療が受けられる。

道内では唯一、インビザラインのプラチナ資格を持つ専門の矯正医である瀬川氏による「インビザライン矯正無料相談会」が2019年1月9日(水)、2月13日(水)に開催される。診療時間内ならいつでも対応可能とのこと。まずは参加してみては?

た矯正方法と言えそうだ。なお、状況によっては従来の手法が望ましい場合もあり、いまみや歯科医院ではワイヤーを使った矯正治療も行っている。